



『海禅寺新聞』第36号

令和4年は新年早々から新型コロナウイルス感染症の流行から「まん延防止等重点措置」が適用されました。長野県内は今も全国的にみるとコロナの流行が著しいとは言われます。しかし陽性者の療養期間の大幅な短縮や、濃厚接触者の認定をしない対応への変化など、明らかにこの感染症との向き合い方は新しい段階にきていることが伺えます。海禅寺にも県外からの旅行者が御朱印を求めて参拝においでになることも増えてきました。来る新しい年は、更にこの流れが進み、安心に満ちた一年になることを祈らずにはおられません。

新年令和5年の干支は「癸（みすの）と卯（うさぎ）」です。「癸」が持つ意味は第10番目であり、物事の終わりと始まりを意味する他に、「揆（はかる）」という文字の一部であることから「種子が計ることができるほどの大きさになり、春の間近でつぼみが花開く直前である」という意味です。「卯」はもともと「茂」という字が由来といわれ「春の訪れを感じる」という意味、また、「卯」という字の形が「門が開いている様子」を連想させることから「冬の門



が開き、飛び出る」という意味があります。よって新しい年、「癸卯」は、「これまでの努力が花開き、実り始める」縁起のよい年になることでしょうか。感染症の影響から停滞した時期が終わりを迎え、私たちの生活の様々な局面が向上する年でありますよう、菩提寺として祈願をこらして参ります。

『初祈願お申込み』を送付

新年恒例となっております『初祈願大護摩祈禱札のお申込み』を同封いたしました。海禅寺の不動堂にて、ご本尊不動明王の御前で勤める護摩祈禱にてお加持をした護摩札をお授けいたします。例年通り新年の2日に行いますが、昨年と同様、感染症に配慮して左記のように執り行います。

- ・マスク着用等、感染予防にご配慮いただき、体調ご留意の上お参りください。
- ・※入り口にアルコール消毒液を用意します
- ・お参りの方はなるべく人数を絞ってお越しください。
- ・不動堂の換気をしながら、例年通り護摩祈禱をお勤めします。参列希望の方はあたたかい服装でおいでください。
- ・ご祈禱後、11時よりご祈禱札をお渡しいたします（夕刻5時まで）。お申込みの方はご都合のよい時間に合わせてお寺にご参拝いただいても結構です。
- ・ご祈禱札の郵送もいたします。（送料500円）
- ・ご希望の方は申込書に明記ください。
- ・終了後に開催していた新年を祝う小酒宴は、今回もお休みといたします。

新年に合わせて住職が施主になり不動堂仏具一式の磨き加工（職人に依頼）と、

不動堂正面の鈴緒を新調いたしました。新しい年に皆様の所願が円満しますように。



○日程 新年1月2日（月）祝日

○時間 祈禱 午前10時〜

※お堂にお入りの方は10時40分頃、御札をお渡しできます

- ・御札渡し 午前11時〜午後5時
- ・御札郵送 3日発送

●初祈願ご祈禱札をご希望の方は、12月29日（木）までに、同封の『初祈願御申込御芳名帳』にてお申込みください。ファックスでも可 Fax : 0268-26-1147

●新設のフォームよりお申込みも可能です。下記QRコードをスマートフォンで読み込んでご入力ください



修正会

新年最初の法要である修正会。過ぎ去った旧年の罪障や穢れを懺悔し、新しい年がよりよくあるように祈念いたします。海禅寺でも年が明けた0時より、本堂・不動堂・聖天堂でお勤めをいたします。ご参拝希望の方はお堂の外からですが、どうぞご自由にお参りください。（申込不要）

日 時 新年1月1日 午前0時〜
※本堂・住職が各家ご先祖の回向法要勤修
不動堂・聖天堂・副住職が祈願法要勤修

『生きる力 Vol.111』送付

今回の特集は『ようこそ総本山智積院へーお大師さまに祈り、お大師さまと出会う智積山参拝ー』です。境内整備の完了した総本山の様子を紹介されています。新しい年には、感染症の状況をみながら本山参拝旅行を企画したいと思えます。詳細は追ってお知らせ致します。

報告 人形供養会 無事勤修

今年も恒例となっている人形供養会を去る11月23日（勤労感謝の日）にお勤めすることができました。回を重ねること38回目。今年は雨の中の供養会となりました。静かに降りしきる雨が、全てを清めお人形達の魂を鎮めているように感じられました。護摩壇から真つ直ぐ空高く登る一筋の煙が、供養者の思いとお人形達を大自然に導き帰しているかの様でした。



本堂前に柴燈明護摩道場を荘厳しお人形の供養をお勤めしました



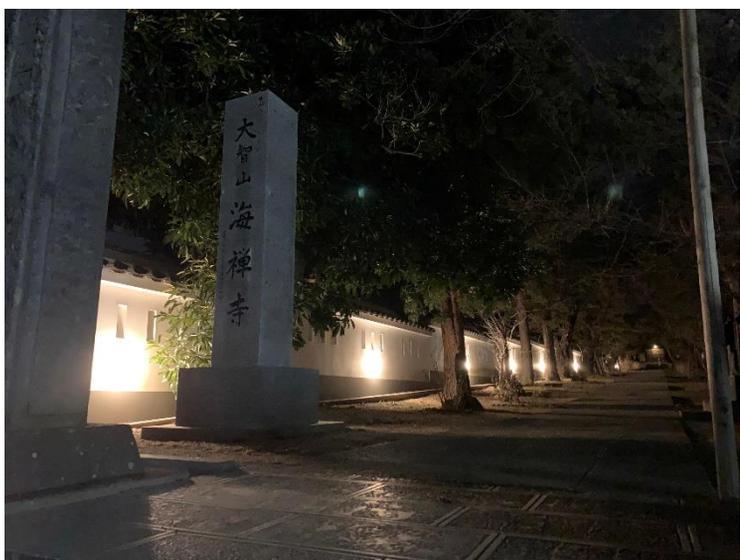
★来年の人形供養会について

日時…令和5年11月23日(勤労感謝の日)
事前申込…2月3日(節分)以降随時

※12月・1月は年末年始の繁忙期につき、
お人形の事前受付、お預かりはしておりません

報告 参道土塀 完成

参道土塀の増設工事が、お陰様でこの度
無事完了いたしました。夜間防犯対策のため
に追加発注していた土塀内側の照明器
具も11月末に設置され、夜間の参道を明
るく照らしております。



ところで「参道」とは、一般的にお寺の
本堂に至る小道を指しますが、「参道」は
実は「産道」を意味しているという説があ
ります。寺は心を整え自分の願いや先祖
と向き合う場所です。一時、非日常的空間
の寺で手を合わせる時間を過ごし、また参
道を通って日常に帰って行く。命が産道を通
って、母なる本源へ戻るが如く、仏様の
もとへ行き、仏様の前で世間的なあれこれ
を一端脇へ置いて自分を白紙に戻し、そし
てまた産道から生まれなおし帰っていく。
それゆえ「参道」は「産道」を意味してい
るというのです。

人生を生きてきた様々な経験や記憶は、
自分を形作っているかけがえのものでは
ありませんが、時としてそれが固定観念とし
て自分を縛り、苦しみの元となることもあ
ります。聖なる存在の前で祈るといふ営み
は、そうした自分の内面を整える行為でも
あると言えるのではないのでしょうか。新し
い年にはぜひ整備された参道を通っての
お参りをおすすめ致します。

報告 住職本山行事に出仕

今秋から年末にかけて住職が本山の行
事に複数回出仕させていただきました。
(宗祖弘法大師ご生誕慶讃法要・冬報恩講)
既にご案内の通り、住職は現在総本山智積
院の菩提院結衆という重役を拝命してお
ります。法要内では重要なお役目も頂戴し
無事勤めることができました。ここに皆様
へ日頃の感謝と共にご報告申し上げます。



報告 しめ縄づくり

今年も寺に飾るしめ飾りは、宮島総代様
ご提供の稲わらを使い、檀信徒有志の皆様
に手作りしていただきました。ありがとうございます。
またここ数年感染症への配慮から、実際に
皆さんで集まってしめ縄を作ることが困

難になっていま
すが、来年以降、
可能な範囲で徐
々に復活させて
いきたいと思っ
ます。関心をお
持ちの方はどう
ぞお問い合わせ
ください。経験の有無を問わず、大募集い
たします！



編集後記 ○毎年秋には境内地から大量の落
ち葉が出ます。その中で墓地のケヤキから落
ちる枯れ葉は腐葉土作りに最適なのだそうで
す。そうしたことから、落ち葉を引き取りに
檀家さんやご近所の方がおいでになります。
来年以降、ご希望の方がおられましたら申し
出ください。

○『諏訪神仏プロジェクト』という取り組み
をご存じでしょうか？かつて日本では神様と
仏様は一体のものとして信仰されてきました。
諏訪でも、諏訪神社(現・諏訪大社)の上社・下
社それぞれに神宮寺とその付属寺院が併設さ
れており、多くの仏像が祀られていました。
政治的な都合で神仏が分離されて以降、衰退
してしまつたその宗教性を取り戻そうと、諏
訪の寺院と諏訪大社が手を結び、この秋まで
に様々な取り組みが行われました。またNH
Kの番組『日曜美術館』でも放映され各所で
注目を集めています。去る11月29日、2ヶ月
にわたるプロジェクトを納める奉告祭が諏訪
大社下社にて、神道と仏教合同で行われまし
た。副住職が有り難いご縁から、僧侶仲間達
とこの大行事で法螺貝を吹くお役目をいただ
き、出仕して参りました。この画期的な取り
組みを契機に、日本の豊かな宗教性がより深
まり、日本国の安寧に結びつくことを願って
おります。

